



網走養護学校だより

令和5年度
第 5 号
(通228巻号)
2月9日発行

TEL 0152-48-2137

開校50周年記念 ～つなぐ～

北海道網走養護学校教頭 佐藤 文人

本校は昭和49年4月に開校をし、今年50年の節目を無事迎えることができました。この50年間の児童生徒、保護者の皆様のご理解とご協力、教職員が一丸となって教育活動を行ってきた努力の結晶です。今年この歴史の一場面を皆さんと共有できたことを嬉しく感じています。

開校当時の網走毎日新聞には、「街の歴史にのこる金字塔」とタイトルが掲げられ、「全道一を誇る充実した設備！！」と当時の本校に対する期待の大きさを知ることができる新聞記事を事務室前廊下に掲示してあります。その記事の中には「この日誰よりも嬉しそうに明るい表情で参加したのは、この学校に入学した65名の生徒であったように思われ誰もがその子らのより明るく育まれ、そしてその行方の幸せを願ってやまない行事となっていたのが印象的であった。」とあり、当時の様子と50周年を迎えた本校の様子と一致するものを感じ、良き伝統として今も脈々と引き継がれているものと再確認をしました。

またPTA活動では、平成18年に「網走養護学校父母と先生の会」の活動に対し、優良PTA文科大臣表彰を受けるなど、学校と保護者が連携して、教育活動を行っていることも再確認することができました。

さて、12月8日には、50周年記念式典では北海道教育委員会の大鐘秀峰委員や、網走市の水谷洋一市長らに出席をいただき、また児童生徒、保護者の皆様にも参加していただき、素晴らしい瞬間を共有できました。これからも学校関係者が一丸となり、新たなステージに向けて地域と協力し、よりいっそうの発展を果たしていくことを期待しています。節目を迎えた網走養護学校が、未来へ向けてさらなる成長と活躍ができるように教育に取り組んで行ければ良いと思っています。

網走養護学校 開校五十周年記念式典



大谷翔平選手からの特別な贈り物

1月16日の始業式の日、嬉しいサプライズがありました。ロサンジェルス・ドジャースのメジャーリーガー、大谷翔平選手から野球グローブ3つの贈り物が届けられました。

大谷選手からの手紙には、これらのグローブが子どもたちに野球の楽しさを伝え、夢を与えるためのシンボルとして寄贈されたことが記されていました。彼の言葉からは、野球への深い愛情と次世代への想いが伝わってきます。

学校長から大谷選手の手紙が読み上げられ、グローブが登場すると、子どもたちは目をキラキラと輝かせていました。キャッチボール体験には多くの手が上がり、子どもたちの目には野球への新たな興味が沸いているようでした。

網走養護学校一同、大谷翔平選手のご厚意に心から感謝申し上げます。彼の贈り物は、子どもたちにとって忘れられない思い出となり、野球への興味を一層深めるきっかけとなることでしょう。今後とも、このグローブを大切に使い、野球の楽しさを全校で共有していきたいと思います。

大谷翔平選手、ありがとうございました。そして、これからも野球を楽しみましょう！（文責：串田）



待ちました！クリスマス会



今年もやってきた、舎生が楽しみにしているクリスマス会。クリスマスツリーの飾り付けをしたり、来てくれる先生やボランティアさんへの招待状やお礼状作りをしたりと、準備から楽しみで笑顔がこぼれる様子でした。

当日は2部構成になっており、第1部は網走市学校支援地域本部様からのご紹介で、楽器体験のサポートで入って頂いたボランティアさん1名と「チームMints（ミンツ）」さんによる絵本の読み聞かせ、楽器体験、触った楽器を使ったクリスマス曲の合奏をしました。そしてボランティアさんにみんなで作ったお礼状を渡しました。1部のクライマックスの「ヨビト・オーディション」は各棟から立候補してくれた舎生が元気いっぱいマジック、ダンス、歌を披露しました。舎生は、審査員の先生方からの称賛の言葉に感激し、達成感に満ちている様子でした。

第2部はみんなが投票で選んだ豪華な料理がテーブルを彩る、待ちに待った会食の時間です。卒業生の乾杯のコールから始まりました。今年は、メインのおかずとサラダが接戦の1票差でハンバーグとコールスローサラダに決まり、その他チキンライス、フライドポテト、コーンスープも出ました。ケーキは今年もチョコレートケーキとショートケーキの2種類から好きな方を選ぶことができ、自分好みのケーキを食べ大満足の様子でした。（文責：鳴海）



ホームページのアドレスと二次元コードを掲載します。

どうぞアクセスしてご覧ください。



<http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp>

～編集後記～

本年もどうぞよろしくお願いいたします。今号の学校便りでは、50周年記念式典や大谷選手からいただいたグローブについて、寄宿舍クリスマス会の様子をお伝えしました。次号は、今年度最後の学校便り発行になります。（文責：大和）